

## ◆teku-teku 2013★行田・蔵めぐりまちあるき企画(活動記録+評価集計結果)◆

企 画■足袋蔵のまち・行田中心街の再生(その5) ～ぎょうだ蔵めぐりまちあるき2013に参加する～  
日 時■2013年5月19日(日) 10:00～15:00頃  
コース■秩父鉄道行田市駅<集合>～足袋蔵まちづくりミュージアム(受付)～保泉蔵～十万石本店～翠玉堂～

秋山蔵～小川源右衛門蔵～新町会館(ものづくり大学)～新町ほっとステーション+中島邸～今津蔵～  
足袋蔵ギャラリー門+カフェ閑居<休憩>～イサミスクール工場～奥貫蔵-(ボンネットバス)-  
武蔵野銀行～忠次郎蔵<昼食>～牧禎舎～足袋とくらしの博物館～足袋蔵まちづくりミュージアム  
(記念品交換+コンサート)～行田本町バス停<解散>

参加者■◎井手幸人、大竹柊子、大竹 亮、栗原 徹、谷貝 等(以上5名、敬称略、◎コーディネイター)  
企画主旨■

かつて足袋の主要な生産地であった行田の街には、往時の栄華をしのばせる多くの蔵が残っています。この歴史的資産に注目し、NPOぎょうだ足袋蔵ネットワークが中心となって、蔵を活かしたまちづくりを着実に進めています。特に、毎年恒例の蔵めぐりまちあるきでは、多くの蔵が公開され様々な活用されています。5回目の行田企画となる今回は、久しぶりに行田のまちを訪れ、蔵めぐりまちあるきに参加して、まちづくりのその後を実感しましょう。

### <参加者の意見・評価>

#### 1◆行田中心街(全体)について

評価:3.40 内訳:AABBC

A: 中心街の表通りや路地奥に今も多数の蔵が存在し、町に風情を醸し出している。商売に使われている蔵、NPOが活用している蔵に加え、新しいギャラリーやショップなども増えたようで、蔵めぐりイベント以外の時も楽しめる町になりつつあるようだ。

A: 中心街は依然、衰退気味であるが、蔵めぐりスタンプラリーで蔵が公開されると、街がにぎやかになったような感じがする。毎年のこうしたイベントを繰り返すことで、行田の中心街の次なる姿が見えてくるのではないのでしょうか。

B: 蔵の活用や魅力的スポットなどが着実に増えてきており、これらが街全体としてつながってくれば、さらに魅力的な街になると思う。

B: 人通りが少なく静かな印象でしたが、歩いて感じのよい、古きよき町という感じでした。

C: まち歩き後、忍城本丸にある博物館に行き、三重櫓に登ってきました。今回の蔵めぐりは、忍城の大手門前の城下町に相当していることがわかりました。商店街は日曜でお休みの店が多く、少しさびしく感じました。一方で、忍城には観光バスや自家用車で家族連れが乗り付け、結構賑わっていました。大した距離はないのに、中心市街地とその外側の観光地がうまく連動していないように感じました。



足袋蔵まちづくりミュージアム(栗代蔵)



保泉蔵の奥に伸びる長い通路

#### 2◆ぎょうだ蔵めぐりまちあるき2013について

評価:4.20 内訳:AAABB

A: 蔵をめぐることで街を知り、普段は見られない蔵の中まで見られる。またボンネットバスを走らせるなど、非常に面白いイベント。

A：中心街にある蔵を拝見できる粋な機会。マップ片手に点在する蔵を探し歩くのが楽しい。ショップ、ギャラリー、体験、飲食など様々な活用方法があって楽しめる。順次、文字スタンプを押していくと現れる文章を推定するのが面白い。ボンネットバスも、とても魅力的。それぞれの蔵の所有者に開放を促しているのが良い。

A：行田のまちを再評価するすばらしい活動だと思います。

B：たくさんの蔵を、それぞれの活用を見ながら回るのが楽しかったです。

B：コンパクトなエリアの蔵めぐりで次から次に蔵が現れ、それぞれの展示・イベントがあって面白かった。スタンプラリーでどんな文章が現れるのかも面白かった。年に1度のイベントということですが、全てではなくて良いので、常設的にオープンしていると良いと思います。日曜日の参加でしたので、協賛店がお休みのところが多くありました。折角協賛しているのに残念でした。土曜日はもう少し活気があったのでしょうか？



表通りに面した白壁土蔵の十万石本店



掘り出し物が見つかる小川源右衛門蔵

### 3◆特に印象に残った場所はどこですか？

小川源右衛門蔵★蔵の重厚な造りもいいが、中で展示しているレトロな商品がとても懐かしかった。

小川源右衛門蔵★昔ウィスキー等についてきたおまけのカップなど懐かしい粗品が販売されていて、毎年寄って覗きたくなる蔵です。

新町ほっとステーション（中島邸）★商店街に面するガレージをイベントに活用していた。

中島邸★屋根付の駐車場を巧く取り入れることで、個人住宅でもイベントや街並みに寄与できる。

今津印刷所の蔵★いつもお茶をこの場所でいただく。

足袋蔵ギャラリー門★行田の中でも迫力の蔵なので、地震被害箇所の改修が少しでも早く進むといいですね。

足袋蔵ギャラリー門★小さいながら素敵なギャラリーで、面白いバッグ展を見れた。

足袋蔵ギャラリー門+カフェ閑居★パン屋やギャラリーもできて、益々魅力的になってきた。

足袋蔵ギャラリー門+カフェ閑居★蔵をパン屋さんとギャラリー、もう一棟はカフェになっており、心地良く過ごせる空間になっていた。

大澤蔵★古いスライドを解説付で見せていただいた。足袋生産で賑わう往時の状況がよくわかった。

大澤蔵★蔵に残っていたという貴重なスライドを拝見できた。前回の幻燈がパワーポイントに進化していた。

忠次郎蔵★三味線の演奏を聴きながらの昼食は風情満点だった。

牧禎舎★奥がとても広く、様々なスペースが連なって驚いた。

足袋とくらしの博物館★足袋づくりの現場を見ることができ、興味深かったです。



豪壮な蔵が並ぶ足袋蔵ギャラリー門



住宅を転用したカフェ閑居と庭園



#### 4◆どこで買い物や食事をしましたか？

十万石本店★浮城サブレ（城型の箱入り）

十万石本店★蔵めぐり参加者にと、おまんじゅうをいただきました。

小川源右衛門蔵★岡本太郎デザインの「顔のグラス」を購入しました。

小川源右衛門蔵★岡本太郎の顔のグラスを2つ買いました。毎日使っています。

カフェ閑居★アイスティ

カフェ閑居★おいしいアイスティを飲みました。

カフェ閑居★お庭を眺めながら、アイスチャイをいただきました。

パン工房 r y e ★焼ドーナツ

パン工房 r y e ★ついつい、美味しそうなパンを買ってしまいました。

パン工房 r y e ★去年は期間限定で出店されていたパン屋さんが常設店になっていた。フルーツを練り込んで焼いたパンは絶品

大澤蔵★蔵に残っていた足袋

忠次郎蔵★そば+ゼリーフライ

忠次郎蔵★昼食（そば、ゼリーフライ）

忠次郎蔵★いつも昼食は忠次郎蔵のそば

忠次郎蔵★お蕎麦とゼリーフライで、行田らしい昼食を採りました。

シャロン（協賛店）★なつかしい甘食などの菓子パン（サービスのラスクが当日売切になってしまって残念）

栗代蔵（足袋蔵まちづくりミュージアム）★スタンプラリーを制覇して、蔵を描いた絵葉書をゲット！



蕎麦処・忠次郎蔵での三味線演奏



落ち着いた印象の牧禎舎の縁側

#### 5■今後、行田のまちづくりはどうすればいいと思いますか？

●時間とともに無くなってしまう蔵を残すため、NPOを立ち上げ保存・活用してその運動が大きくなってきていると感じました。蔵の街にマッチした住宅が建てられたり、蔵のパン屋さんが開店したり、軌道に乗ってきているように感じました。イベント時だけではなく常時オープンして、行って楽しい街になってほしいと思います。

●市民に蔵の存在を知ってもらい、所有者に蔵の内部を開放してもらい、外来者に蔵の魅力を体験してもらうという目的を達しつつあるように思う。ただ、一般商店との連携（スタンプラリー参加者特典）がやや目立たず利用しにくかったのも、もう少し工夫があればいいと思う。イベントは定着したようなので、年間を通じた蔵の活用による町の魅力づくりに向けて、何か仕掛けられるといいのでは。

●足袋とくらしの博物館の近くに、若い方が古い家を改修されて飲食店を始められた。こうした動きが、ぎょだ足袋蔵ネットワークなど地元のNPO等々とうまく連携されてくると、行田ならではのまちづくりがより加速されるのではないのでしょうか。

●足袋蔵のまちづくりと、忍城やさきたま古墳などの観光資源や商店街の活動などが、もう少しうまく連携できるといい。（大型バスによる観光とは一線を画すべきだが・・・）

●足袋蔵のまちづくりは、観光客ではなく、街の人々にとっていい街づくりを目指すべきであり、その意味では、今の方向性で徐々に輪を広げてゆくことがいいのではないかと。



職人の実演もある足袋とくらしの博物館



古民家を転用した新しいカフェ

## 6 ■ その他、今回の企画に対する感想など（自由記入）

●これまで行田には何回も来ているが、来るたびに新しいものが出来、それを確認することが街を訪れる楽しみとなっている。歴史的な建物の保存など「変わらない」ことも大事だが、一方で街の魅力は「変わる」ことでもあり、それが良いバランスを保つことで、優れたまちづくりが実現するのだろう。また、古いものを守り、新しいものを創ってゆくためには、それらを支える人が重要で、まちづくりが広がる中で、人の輪も広がってきているように思える。行田のまちづくりのように、蔵めぐりなどのイベントを継続的に実施し、そのイベントを通じて徐々にまちづくりと人の輪を広げてゆくという方法は、あまり派手さはないが、多くのまちにおいて活用可能な手法だと思う。（K・T）

●中心市街地は蔵が保存・再活用され、足袋の歴史・文化があり、その外側では観光地にもなっている忍城、さきたま古墳など色々な要素を持っています。ゼリーフライやそばなどの独自の食文化もあり、これらをうまくつなげてふらっと立ち寄って楽しい行田の街ができないものでしょうか。周辺で採れる野菜の直売などがあると楽しくなると思います。忍城の駐車場に止まっていた観光バス2台が中心市街地を素通りして行ったのを見て、各要素の連携が課題ではないかと感じました。「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」は、短時間で色々なものが見られて大変楽しく過ごせました。（Y・H）

●立派な蔵の外観を見ることができて良かったです。また、その中に入ると、いろいろな興味深い体験ができ、とても楽しかったです。（O・S）

●今津印刷所の蔵がある商店街の通り沿いの空きスペースに、新築の住宅がインフィルされていた。通りに面して大きな軒屋根がかかっている。今後この屋根に対して、隣接する建物が建て替えるときにどのように反応するかが楽しみです。（I・Y）

●4回目の行田訪問でしたが、来るたびに魅力が増していると感じます。また、常設の蔵開放も少しずつ増えているようです。これもNPOぎょうだ足袋蔵ネットワークを中心とした活動の成果と思いました。朝から昼過ぎまでの短い時間でしたが、それでも17箇所の全部の蔵を巡り、カフェや蕎麦処でゆっくりして、充実した時間を味わうことができました。全部のスタンプを押すと、スタンプ帳の文字は「この街なみ未来につなげよう私たちで」になりました。ありがとうございました！（O・R）



石造洋館の武蔵野銀行行田支店



会期中、市内を巡るボンネットバス